

学校魅力化アドバイザー等業務
公募型プロポーザル選定委員会（第2回）
議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和7年4月14日 10時00分から11時00分まで
2	場 所	広島県庁本館 102 会議室
3	出席委員	教育委員会事務局学びの変革推進部教育改革課長（委員長） 地域政策局中山間地域振興課長 教育委員会事務局管理部総務課長（代理：課長代理） 教育委員会事務局学びの変革推進部義務教育指導課長 教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課長 教育委員会事務局学びの変革推進部生涯学習課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	教育委員会事務局学びの変革推進部教育改革課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者 A社：一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり (3) 最優秀提案者 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム（A社）</p> <p>3 各委員の主な評価・選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの豊富な取組実績から得た知見に基づき、具体的な提案がなされている。 ・ 学びの土壌を豊かにするためには、人材が重要であるため、具体的な取組の実施に向けた、人への働きかけなどに重点的に取り組んでいただきたい。 ・ 国、他県における類似の業務受託実績を有しており、豊富な先進事例に基づいた本件事業の実施が期待できる。 ・ 市町の行政職員と一緒に取組を進めることは、非常に効果的であり、地域や市町と目指すところを一にするという視点が評価できる。

	<ul style="list-style-type: none">• 本県の対象校の状況をデータを用いて客観的に分析し、取組の具体策を検討することができる点や、個々の学校に対する伴走支援について示されている点が評価できる。• どこまで学校に寄り添った支援ができるのかは、未知数であるが、具体的なデータ分析に基づいて、共通認識を図る手法については導入する価値があると考ええる。
--	---